



刻々天龍村 瞳月便り 本多紗智

めでとうございます。中途半端
か悩むところではあります
が、返りもしてみようと思
います

真庭なりわい塾全講座修了
飯田信用金庫天龍支店における四季の写真展示
ICU & ミドルベリー関係・千葉大学の学生受入れ

・関係人口・倉出事業・信州一なく
地区行事(道づくり・ゴミ拾い
事・祭り・婦人会五平餅づく

今後三年南信州日帰り能面劇
部の掛け踊り写真提供
WEBメディア連載・村の暮らし
雪用神樂　云流狂言の記録三集

覚えているところでは、だいだいこんな感じで！か。ひとつひとつ振り返つていたら本が一冊出来て、その勢いなので、二の中でも特別に印象深い

村の継続事業として毎年夏に行つて いる大学生インター
ーンシップ期間の三週間、ほぼ毎日一緒に村を周つた学

霜月神楽（坂部の冬祭り）にも、帰省ついでにはるばる足を運んでくれて、久々に会えたことがとても嬉しかったです。

「あらゆるわざらしさ・手間・面倒臭さを断ち切ることによつて経済を成長させてきた」日本において、各地域に残る小さなお祭りが、その「わざらしさ」や「面倒臭さ」もひつくるとして、いかに地域の結束を生んでいるのか、共同体の根源として機能しているのかを改めて考察できそうです。また、練習風景を見ていて、地域の祭りは子どもたちにとつての貴重な社会教育の場であるということも強く感じました。地区の皆さんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。

「行政臨時職員」という曖昧で不明瞭な体制のまま協力隊を続けた先に残るものは一体なんのか？村に住み続ける場合は「稼ぎ」をどこから生み出すのか？など、とても悩ましいターニングポイントではあります。

継続のあかつきには、真庭なりわい塾で教わった三原則「かせぎ・つとめ・くらし」のバランスを頭に置きながら、地域のことや村人ととの交流、現金に換えられる特技のプラスシェアップ、山暮らしの知恵や生活スキルの会得など、それぞれの時間配分をある程度確立していかなければ、と思つてします。本年もよろしくお願ひ致し

夏から半年間、総務省と長野県の関係人口創出事業「信州つなぐラボ」祭りと暮らしう」のお手伝いをさせていただきました。

行政・地区・参加者の板ばさみ状態が続いたことにより、考えすぎる・溜め込む性格も災いして精神的に参つてしまい、途中で手を引くことも考えたというものが正直なところです。

しかし、二度にわたる向方地区でのフィールドワーク、地区住民と参加者の交流風景、プログラム参加者三名が「うぶすなのようとめ」を舞つたお潔め祭りなどを、普段とは少し違う視点から見ることができたのは、新鮮な経験だったと思っています。また、新しさつなぎを生むためのきっかけ作りであると同時に、色々なものを「つなぎなおす」チャンスでもあつたのかなと考えると、最終的には関わることが出来て良かったのかなと感じています。

卷之三

二〇二〇年の暮が上がりました。年が巡るスピードに追いつければ、年々突き放されているようになります。一年間はあつという間です。全力で走ったって追いつけないような気がします。感覚的にはスペゲティを茹でる時間に似ていて、カップラーメンほど短くはなく、七、八分もかかるから長いように感じるけど、実際に茹で上がつてしまえばすぐだった、というような感じで。ボーッとしてると麺が伸びてしまります。伝わってますか？（笑）

年末年始は実家のある佐賀に帰つていきました。佐賀県といつても福岡県との県境にある町なので、正月は太宰府天満宮へ初詣に行っています。電車でも車でも三〇分ほどの距離にあるので、平岡駅から大河内へ行くより早く着きます。ただ、今年は令和になつて初めての正月ということもあってか、一日に行つたらあまり人の人が多さで全く前に進めないので、引き返して日を改めました。並んでいたら二時間以上はかかっていたと思います。あまり知られてはいないですが、太宰府天満宮からさらに奥に進むと、天開稻荷社があります。個人的にすごく気に入っている神社で、太宰府天満宮へお参りに来た際は必ず立ち寄るところです。この年始でも人は少ないので、ゆっくりと参拝することができます。ぜひ太宰府天満宮に足を運んだ際は、もう少し奥まで立ち寄つてみて下さい。おススメです。

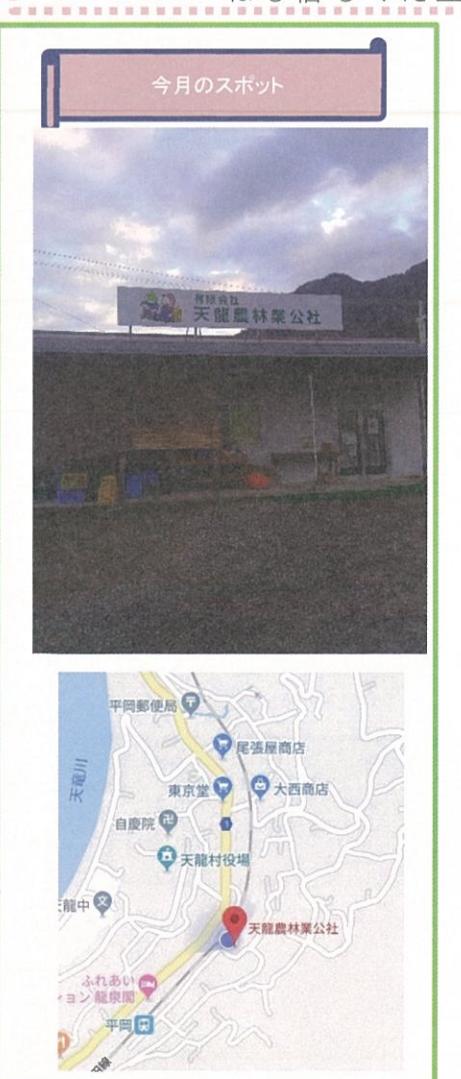
今年は初日の出も拝みに行きました。稜線に沿つて薄い雲がかかっていましたが、ゆっくりと雲の隙間から顔を出し、力強い温かみを町に放つていました。日の出を見たり、どこまでも広がる海原を眺めたり、太宰府天満宮など神社にそびえる大木に触れる、焦らず、急がず、全てを受け入れて、常に同じ姿勢でただそこに在ることに、畏敬の念を抱きます。その存在に触れると、人々に散らばった欠片がキュッと一つになるように身が引き締まるを感じます。なので、そういう自然のエネルギーを感じたくて（こういうのをパワースポットって言うんですけどね？）、たまたま神社に足を運びたくなります。話が逸れますが、四年前にキビ刈りの仕事で行つた与那国島は島 자체がパワースポットらしく、第六感に優れた方々が引き寄せられて（？）、島を訪れるそうです。自分はとくに感じることができませんでしたが。お世話になつたキビ農家さんは、なぜかそういう方々からよく道を尋ねられたりするみたいで、そのまま助手席に乗せて、言われるままに案内することが何度もあると言つていました。案内した先には、森のなかにある大きな石だつたり、海に聳え立つ岩にたどり着くそうです。もし、気分的に深く落ち込んでいたり、八方塞がりだったりして、思いつきり気分転換をしたい！という方は、国内では屈指の行きにくさですが、日本最西端にある与那国島も候補に入れてみてはいかがでしょうか？もしかしたら第六感を開眼させるかもしれませんよ。スピリチュアル的なものを信じるか信じないか人それぞれですが、経験を積み重ねた上での感覚や直観はとても大切だと思うので、ぜひピchinときた方は与那国島へ。ちなみに、僕は何を積み重ねてしまつたのか、稀に電話がかかってくる瞬間が分かります（笑）稀にですけど。というわけで、九州地方のことばかり書いてしまいましたが、要するに素敵な一年にしましたよ！ということです（笑）最近、「素敵」という言葉にハマっています。昔は「素的」と書いたそうです。ステキですね。

明けましておめでとうございます。今年も宜しく
お願いします。

年も明け、これから気温も下がり冬本番かと思いま
したが、梅も満開になるほどの陽気な日もあり、農
作物への影響が気になる今日この頃、着任先である
農林業公社で作付け計画を作成しました。農閑期に
着任し、まだ作物を育て収穫する喜びを経験してい
ませんが、この時期にしつかり準備をし、多くの作
物を収穫したいと思います。

今年は【ていざなす】【パブリカ】【ねぎ】【水稻】
【サニーレタス】【南天】【お茶】【ゆず】【あけび】
【ユーカリ】などを育てる予定です。

収穫後、直売所にて販売する作物については、
SNSなどを使用して情報発信していくうと思いま



十二月の活動

篠田大樹



文：前田美沙

皆様、新年明けましておめでとうござります。

天龍村に来て2度目の冬がやつて参りました。

私の実家は富山県なのですが、去年の正月富山は大雪でえらい目にあつたので（一日中雪かき）今年はおとなしくこちらで過ごしていました。

寝正月で終わるかと思われましたが、南信州でできた友達数人と集まってボードゲームをしたり映画を観たり焚火をしたり、1日には中井侍の新年会にも初めて行くことができ、また3日と4日には初めて巻猟（グループ猟）に参加させて頂きました。思いがけず大満足の冬休みでした。

残念ながら獲物に出会うことはできませんでしたが、先輩猟師の方に色んな山道を教えて頂いたり、足跡の見方を習ったり、自分でボンヤリしていた狩猟への興味が一気に膨らむのを感じました。

ペーパー猟師の私にとつては実際に銃を担いで山を歩き回つただけでも、とても刺激的でした。

去年は銃の不調などもあり、免許を取りたあとの事務手続きでほとんどを費やしてしまったのと、罠猟もお茶が忙しくてあまり積極的に出来なかつたので、今年こそは本腰をいれて有害駆除も勉強したいと考えています。

暖かい時期はお茶の栽培との兼ね合いが
難しいですが、なんとか多少は「天龍村
の初心者獵師」を名乗れるように頑張り
ます。
凝縮された濃密な正月の中で、今年の
抱負と力を入れたい活動が定められた
ような気がしました。
今年は「お茶の栽培・販売」と狩猟」の
二つを柱にしたいと思います。
そして抱負を語った後に忍びないので
すが、実は1月8日～31日まで未消化
の年休と代休を使わせて頂いて、長期休
みを頂くことにしました。毎冬お世話に
なつていた沖縄の農家さんの手伝いをし
ながら、沖縄の友達に久しぶりに会いに
行つてきます。沖縄に久しぶりに行くの
も楽しみですが、視点を変えて天龍村に
戻ってきた時に、村の景色がどのように
自分の目に飛び込んでくるかがすごく
楽しみです。
住んでいると当たり前になつてしまい
がちな天龍村の景色や環境、そしてそこ
に暮らす方々の人柄などが、初めて来た
とき以上に素晴らしいものに感じられる
よう、沖縄でも色々吸収してきます。

住んでいると当たり前になつてしまいがちな天龍村の景色や環境、そしてそこに暮らす方々の人柄などが、初めて来たとき以上に素晴らしいものに感じられるよう、沖縄でも色々吸収してきます。



十二月には今後の活動計画を立てました。私の主な栽培予定品目はお茶、ていざなすになります。その他は直売所や自家消費が主になりますが、ネギ、ミニトマト、キュウリなども育てる予定です。また冬に収穫できるイチゴをやると年間うまく回るのかも、と思い一月に入つてからイチゴ農家さんのところへ話を聞きに行きました。

お茶は栽培だけでなく、営業にも力を入れて高級旅館やホテルを中心に戸路を拡大したいと思っています。また、出来るだけ高値で売れるよう高級感を感じられるようなパッケージをと思い、デザイン制作中です。

ていざなすは全国放送のテレビでも観る事があるほど需要は高いような気がしますが、一方で生産者が減っていると聞きます。せっかくの需要があるので天龍村の伝統野菜生産量が減ってしまうのは残念です。ていざなすの生産を少しでも支えられるように頑張りたいと思います。

また、十二月にはお茶の実油を使った商品を扱っている会社の方の元へ勉強に行きました。（下の写真はその商品になります。）お茶の実油は肌に優しく、肌のケア用品に重宝されるようです。実際にクリームも使いましたがサラッとした肌触りで使いごこち抜群です。お茶の実の買取もしてくれるそうで、収穫に回り、10キロほど取る事ができました。年を明けて以降の収穫だと質が落ちるそうで今期はもう収穫できませんが、30キロあれば天龍村産100%のオイルが出来るようなので来期以降商品化を目指したいと思います。また茶葉を探るように茶畠を管理するより、お茶の実収穫用に管理する方が作業量が少なく楽なのでお茶畠の荒廃化防止にも繋げられる事業かと思います。

その他には十二月は十一月より地域行事にも参加する事ができました。小学校のおやす・しめ縄作りでは初めて縄ないを体験しましたが難しく、地域の方の技術と経験はさすがだなと思いました。



A OIL フェイシャル ジェルクリーム

栽培の茶の実油を配合した、
ピー・乾燥・敏感肌の方の
保湿クリームです



TEA OIL 10mL
(茶の実オイル)

【特徴】乾燥から肌を優しく包む保水力、肌に自然になじむ優れた浸透力



ソニガープロジェクト参加品 箸

ハンガープロジェクト（ハンガー作り）にも参加させていただきましたが、ほとんど手作りでまさにみんなで力を合わせて作つていいという感じが素敵でした。参加記念に頂いた木の箸も早速使わせてもらっています。

また、ウルトラ軽微隊のそば打ちにも参加させていただきました。初めての経験で面白かったです。できた蕎麦は一人暮らしのお年寄りの元へお届けしました。私は永嶺村長と一緒に回りましたが、村長が走つて一軒一軒届けるというは一人一人の顔、名前、家がわかる天龍村ならではの光景ではないかと思います。

その他にも若者を中心に行われているフットサルにも十二月から参加させてもらっています。今年の春までずっとフットサルとサッカーをやつていたのでまた出来るようになつて嬉しいです。今後も皆様と交流していきたいと思います。また、二月には梅花